

# 令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	31	学校名	大淀高等学校
----	----	-----	--------

1. 取組名 ①「やすらぎカフェ」 ②「小学校体力測定支援事業」  
③「大淀町花火大会運営」 ④「交通安全強化運動」

## 2. 活動内容

① 一般住民に行う認知症理解の啓発活動。大淀町役場と町内社会福祉施設と本校生徒が企画会議を行い、実施にむけて広報活動や当日の運営に携わった。どのようにすれば地域の方々にこの事業を知っていただけるか、より認知症について理解してもらう方法などを話し合い、実施した。



② 近隣の小学校に本校3年生運動部員と体育科教員が赴き、小学校4年生から6年生までの体力測定の補助を行う。測定内容ごとに安全でスムーズな実施方法などを検討しながら行った。

③ 地域の最大規模のイベントである大淀町花火大会の準備、運営と翌日の清掃活動に参加した。当日の実施前に地域の方々と一緒に灯籠やゴミ箱の作製、来場者への案内の方法についての話し合いなどを行った。翌日は部活動生徒や有志参加者で会場周辺のゴミ拾いを地域の方々と一緒に行った。

④ 地域の方々への車や自転車の安全運転の啓発活動。生徒会、家庭クラブ、交通安全委員の生徒が地元小中学校と吉野警察署と連携し、町内各地でマスコット配付をしながら安全運転の呼びかけを行った。



## 3. 成果と課題

「高校生がいると町が明るくなって嬉しい」という声をたくさんかけていただいた。自分の役割に精一杯になっていた生徒たちも嬉しくなり、より積極的に活動に取り組んでいた。活動内容だけでなく、そのようなコミュニケーションをとりながら、学校と地域のつながりをより感じられたのではないかと思う。企画したことを実施するための綿密な打ち合わせや準備の重要性も実感できたようで、貴重な社会経験ができ、自分の進路選択にも役立てることができると話す生徒もいた。それぞれの企画の規模によって参加生徒数が限られているので、より多くの生徒がこのような貴重な経験ができるよう、活動内容も柔軟に考えていきたい。

## 4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

地域の方々との交流を大切にしながら、より積極的に地域に貢献できるような活動を続けていきたい。新たな活動も検討しながら、生徒たちに学校内だけでなく、地域のことにもより関心を持ち、一緒に盛り上げていこうという気持ちをもたせたい。